



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R3.5.28発行
第3号
校長 横山 聡

児童も教職員も

「学び合い・助け合い・鍛え合い」

(今年度の明治小の合言葉)

5月13日(木)に、山形大学教職大学院教育実践研究科の先生を講師にお招きして、6年生の国語の授業研究会を行いました。

『聞いて、考えを深めよう』の学習で、「友だちの話を聞いて自分の考えを深める」「自分の考えを論理的に話す」力を伸ばそうとしたものでした。話し合いのテーマは、「1年生を遊びに誘います。外遊び・中遊びのどちらだと1年生のみんなは喜ぶでしょうか」です。

あらかじめ、子ども達は、ワークシートに考えを裏付ける事例や理由を詳しくまとめていました。ワークシートをもとにグループで順々に発表した後、それぞれの立場の主張の根拠となっている例や理由について検討が始まりました。「なるほどね」「でもね」「こんなことも考えられるでしょ」などなど、進行役を決めなくても、どのグループも活発に話し合うことができました。話し合いの後、今日の話し合いについて自分はどう取り組んだか振り返りを書いて授業終了です。「話すときに、考え→理由→事例をつなげて話すと、相手に伝わりやすいことがわかった。事例や経験などを加えて話すと、より考えが主張されて相手に自分の考えをわかってもらえるということがわかった」と書いている子どももいました。

一方で、教職員は授業中、子ども達の学びの様子(話を聞いて、自分の考えとの違いをどのように理解し、考えを深めているのか)を丁寧に見とるように努めました。

放課後は、教職員の研修の時間となります。子ども達の学習の様子はどうだったか、教師の授業の進め方はどうだったか協議しました。 山大の講師の先生から、子ども

達が心を開いて安心して授業に参加していること、これまでの学習の積み重ねが子ども達自身の言葉で教室に掲示してあること、子ども達同士が支え合いながら話し合っていたこと等について、評価していただきました。

6年生にとっても、教職員にとっても、「学び合い・助け合い・鍛え合い」の充実した一日となりました。



グループごとに活発に話し合いました



職員の研修の様子